

科目名 (科目コード)	特別支援教育・保育 【1256】	配当年次	1	担当教員	伊藤 健次	対象 区分	すべて	—	—
		単位数	1				—	—	—
科 目		教育の基本的理解に関する科目							
各科目に含めることが必要な事項		特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解							
授業の ねらい	<p>今日の障害のある子どもの教育・保育をめぐるのは、かつて「障害児」といわれてきた子どもにとどまらない、多様な「個別的教育・保育ニーズ」のある子どもも視野に入れた幅広い教育・保育が求められるようになってきている。</p> <p>本講「特別支援教育・保育」では、障害のある子どもの教育・保育について基礎的な考え方を学ぶことからはじめ、さまざまな障害の特性を学んで、個々のニーズに応じていくとはどのようなことかを中心に検討していく。さらに、障害はないが母国語、貧困、虐待などの課題のある子どもの個別的教育・保育ニーズを理解し、インクルーシブな教育・保育の実現に向けていく。</p>								
授業の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害のある子どもの教育・保育の考え方 2. 発達を理解 3. 対象別に見た障害の理解 4. 気になる子どもとその他の障害の理解 5. 障害のある子どもの保育の方法 障害のある子どもの保育の計画 障害のある子どもの実践と評価 6. 障害のある子どもの保護者（親）への支援 障害のある子どもの保育関連施策 7. 障害のある子どもへの個別対応 保育場面の事例演習 8. まとめと試験 								
教科書	<p>書名：「新・障害のある子どもの保育（第3版）」 編著者：伊藤健次 発行：(株)みらい ISBN 978-4-86015-385-4</p>								
持参物	指定の教科書、学習指導書 及び リポート設題								
評価方法	授業への参加意欲、態度、レポート、試験による理解度など総合的に評価する。								

科目名 (科目コード)	特別支援教育・保育 【1256】	配当年次	1	担当教員	家門 鉄治	対象 区分	東京以外		
		単位数	1				—		
授業の ねらい	障がい児保育の現在に至るまでの歴史、動向、現状と課題などについて学ぶ。さらに最近の「発達障がい」を含む障がい児の心理、保育・教育に関する理論や知見、事例などをとおして、個別的、集団的に保育者はどのように支援していくべきか考える。また家庭、関連機関との連携のためのツールについて学び、支援の在り方についても理解を深める。								
授業の 計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.障がいに対する考え方の変遷と障がい児保育・教育の歴史：障がい、障碍、障害 2.障がい幼児の保育形態と受け入れ：合理的配慮とインクルーシブ教育・保育 3.家庭、福祉、医療など関係機関との連携：個別の支援計画と指導計画 4.様々な障がいについて：視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由等の理解と支援 5.知的障がい幼児について：認知、言葉、身体の発達 6.重複障がい幼児についての理解と援助：医療的ケアについて 7.「気になる子」や発達障がい幼児の環解と支援：DSM IVからDSM 5へ 8.まとめと試験 								
教科書	参考資料などのプリント配布								
持参物	筆記用具								
評価方法	授業への参加意欲、態度、レポート、試験による理解度など総合的に評価する。								